



宿泊学習（中学部2年生）

7月8日（木）に中学部2年生の宿泊学習がありました。

白浜エネルギーランドでは、アトラクションをまわる順番や過ごし方について各クラスで話し合っ決めて決めるなど事前学習をすすめていたため、当日はどのクラスも見通しをもって活動することができました。体を動かすことの大好きなクラスはエネルギーギッシュの森でアスレチックをしたことが一番楽しかったそうです。インドア派のクラスはジュラシックツアーとエネゴンシアターが楽しかったそうです。どのクラスもお土産も買って大満足でした。ホテルシーモアでは、入館式の挨拶をしっかりとすることができました。楽しむだけでなく、ホテルのルールやマナーを学んだり、集団行動を意識して行動したりすることを目指に取り組みました。部屋長を中心に時間を守って行動したり、他の友だちのことを考えて行動したり、ホテルを利用する際のルールやマナーを意識して取り組むことができました。また、初めて友だちと宿泊をするという生徒もおり、たいへん緊張していましたが、友だちと一緒にトランプをしたり、テレビを見たり、普段はできないような話をしたり充実した時間を過ごすことができました。



ホテルシーモアでの夕食の様子です。



エネルギーランドの様子です。

泊2日という短い時間でしたが、日常生活を離れた体験を通してどの生徒も一回り大きく成長したような気がします。

前期全校研修会

7月2日（金）、「ポジティブな行動支援で子どもが主役の学校作り」の研究テーマで、畿央大学 大久保教授とオンラインで全校研修会を実施しました。小学部、高等部の授業の研究協議、事例研究発表では、具体的な指導、助言をいただき、今後の授業力、指導力の向上に向けて有意義な研修となりました。2月の公開研究会に向けて、さらに全校で研究を進めていきます。



生馬小学校との学校間交流学習

7月9日（金）に「仲良く遊ぼう」をテーマに、生馬小学校の3年生の児童13名とはまゆう支援学校小学部の3年生の児童8名が交流学習をしました。

はじめに、二つのグループに分かれ自己紹介をしました。お互いに少し緊張している様子でしたが、自己紹介が終わるとすぐに打ち解けてチームの旗をみんなで作りしました。絵を描くお友達、自分の好きなキャラクターのシールを選んで貼るお友達、みんなで力を合わせて頑張ることができました。最後は、「くだものドッカーン」のゲームをしました。子どもたちは、くだもの名前が書いた椅子の周りに円を描くように音楽やリズムに合わせて歩き、音楽が止まると椅子に座るゲームに取り組みました。みんなルールをよく理解し、空いている椅子を教え合うなど協力する様子が見られ、笑顔で楽しい交流ができました。

